

にほんごひろば

日本語能力試験 N2



模擬テスト 合格を目指して！

「日本語能力試験」は外国人の日本語能力を公的に証明する資格試験として、7月と12月の年2回、国内外で実施されています。「にほんごひろば」に参加している学習者の中にも、将来の就職活動に備えてこの試験を受ける予定という方がいつも何人かいらっしゃいます。今回は普段より多い受験予定者が見込まれたため、本番の試験前の10月と11月に模擬試験をやることにしました。この試験は難易度によって5つのレベルに分かれています。今回は難易度が上から2番目の「N2」の受験予定者を対象に、「言語知識（文字・語彙・文法）、読解」と「聴解」（リスニング）の模擬試験を本番と同じ試験時間をかけてそれぞれ2回ずつ実施しました。



中央図書館2階集会室にて模擬テストの様子

担当者の思い

にほんごひろばにはいろいろな目的を持った学習者がやってきます。少数ですが日本語能力試験を受ける方がいらっしゃいます。そんな学習者の少しでもお役に立てればと思い、本番の試験に向けて模擬試験を企画しました。本番と同じ制限時間を決めて実施する模擬試験は普段の学習と違って集中力が必要ですし、いい練習になったのではないかと思います。これからも日本語の学習を続けて欲しいと思います。

学習者の声

私にとって、実際の試験は非常に難しかったです。特に聴解問題は思ったより難しいと感じました。でも模擬試験をしておいて良かったと思います。いろいろ考えてくださりありがとうございました。